

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 9月 16日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200320		
法人名	有限会社メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム南観音ひまわり		
所在地	広島市西区南観音6丁目3-31 電話082-295-3717		
自己評価作成日	令和5年7月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200320-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200320-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年9月12日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

住宅街に立地され比較的静かな環境にある。近くには小学校・中学校があり登下校に子供たちの声が聞こえテラスから見送り声掛けすると挨拶を交わすことができる、日常を感じられるグループホームである。家庭的な雰囲気大切にし入居前の生活をイメージし継続できる事はできるだけ続けて頂けるように支援している。季節ごとの行事や毎月1回外出のレクリエーションも計画し実施している。ご家族様には毎月お手紙をお送りし、近況の報告やお写真なども一緒にお送りし入居者様の表情なども見て頂いている。母体は医療法人であり、入居者様の体調管理など連携を図り何かあれば直ぐ対応できるようにしている。遠方のご家族様の面会もリモートで対応でき、ご家族様とメール等を活用してご質問やご連絡も行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

母体医療機関や法人グループとの連携を図り、記録の電子化の取り組みや職員研修の充実によりスキルアップ等、職員を育てる取り組みをしている。法人グループの強みを活かし、他事業所の取り組み状況を参考に運営をしている。コロナ禍の中、令和5年6月以降の取り組みとして、第一に、地域との関りが難しい状況であったが、近隣公園の清掃活動に利用者と職員が一緒に参加をしている。第二に、利用者個々の希望を叶える取り組みとして、本人の誕生日にはケーキを食べに行ったり、個別の買い物などへ行き利用者の楽しみを増やす取り組みをしている。第三に、運営推進会議はリモートから対面会議への再開を実現している。日頃から職員同士が話しやすい雰囲気づくりを構築し、情報を共有しながら『職員が楽しく』をモットーに日々利用者の支援に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎年、職員にアンケートをお願いし法人の理念以外にもグループホームでのケア目標を作成して毎朝、朝礼時に唱和をしている。また、理念自体の重要性について一人ひとりに指導している。	法人理念をもとに毎年、職員アンケートで事業所目標を作成し、年度末に振り返り次年度に繋げている。朝礼時に唱和し、ケアを実践する上での立ち返るべき原点としている。年2回の個人面談で達成度、管理者からアドバイスを受ける体制を整えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	小学校の登下校時にテラスでの声掛け、挨拶を行ったり散歩中の住民の方に声を掛けてお話しされたりする。散歩コースの公園にはたくさんの子供達に会い日常生活を感じられる。公園の清掃も行っている。	町内会の加入により、地域情報を得ている。コロナ禍前の秋祭り際には、子ども神輿がホームまで来て、地域と利用者の交流を図っていた。令和5年6月以降から利用者と職員が町内清掃など手伝っている。小学校の登下校時にテラスでの声掛け、散歩を通して地域の方との関りを持つようになっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	観音地域包括センターが主催する「観音認知症応援団」に毎月参加している。年2回講師を招いて講演会を開催し地域住民の方に認知症の方との関わり方について理解して頂く。また、グループホームについても理解して頂き認知症の相談窓口としての役割を果たす。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度開催しご家族様、入居様、町内会長、地域包括の方、近隣の施設の方とリモートにて情報共有し、意見を頂いている。行事などの報告も同時に行っている。6月に直接参加の運営推進会議を行った。質問やご意見などにお答えしてサービスの向上を図る。	リモート会議を継続していたが、令和5年6月以降から対面会議を再開している。利用者状況、活動状況、事故報告、身体拘束防止及び虐待防止、今後の活動予定など報告をしている。開催後は、家族に書面報告をしている。対面再開に伴い、情報交換、意見交換の場となっている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	広島市の主催する研修にできる限り参加し、地域支えあい課の担当者様と連携しながら情報交換を行っている。運営推進会議の報告も行っている。	地域包括支援センターが主催する毎月の会議では近隣事業所が集まり話し合いをしている。市担当者に、ホームでの状況、地域状況などを報告している。年2回講師を招いて講演会を開催し、地域住民の方へ認知症の理解を広める取り組みをしている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	関連法人グループにて年2回の身体拘束に関する研修を行っている。また、グループホーム内でも年2回勉強会を行い職員の意識の向上に努めている。	地区別の法人グループの4事業所の委員会で年2回研修の実施、他事業所の取り組み状況を参考にしている。身体拘束をしないケアに向け、言葉の拘束にならないようにスピーチロックを含め、言葉遣いには十分気を付けて支援している。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	関連法人グループにて年2回の虐待に関する研修を行っている。職員の入居者様への言動の変化にも注意し、目上の方の尊敬の念を意識する為、朝礼時にも唱和している。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	関連法人内の勉強会、グループホームでの勉強会に参加し権利擁護に関する内容を学び意識している。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	管理者、法人在宅事業部マネージャーを交えて説明を行っている。細かい部分についても事前に説明し有無の確認をしている。リスクマネジメント、苦情、要望については対応方法を文章で説明し同意を得ている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	施設入り口に意見箱を設置している。メールのやり取りも行っておりご家族様のご意見を伝えやすくしている。また面会も再開しており、面会に来られたご家族様へ声掛けを行い話しやすい雰囲気を作り、要望があれば書類にし、全体カンファレンスやサービス向上委員会にて話し合い、原因究明、再発防止に努めている。	要望があればカンファレンスやサービス向上委員会などで話し合いをし、出来る限りの要望を対応している。利用されて間もない方で、家族から『日頃の暮らしぶりを知りたい』意向を受けて、家族と相談し、時間を決めて電話で近況報告をする中で家族の不安解消に努めた例がある。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月1回必ず全体カンファレンスを行っている。欠席者については事前に書類参加にて意見を出してもらっている。カンファレンスの内容については迅速に書類にて回覧している。</p>	<p>毎月の全体カンファレンス、年2回の個人面談を実施し、管理者は、職員一人ひとりの力量を把握している。法人として『資格取得の斡旋、永年勤続表彰、希望体の取得』など柔軟に対応している。ベテラン、新人職員に関係なく、いつでも話しやすい環境を構築している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回人事考課を実施している。前年度の反省を基に個人目標について面接を行っている。職員の抱えている問題を把握し対応している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設外の研修に参加するように職員へ促し、参加した場合は報告書にて他の職員にフィードバックしている。また、職員研修用にeラーニングにて全員が視聴している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>観音地域包括センター主催の認知症カフェ「観音認知症応援団」に参加し近隣の事業所と知識を深めるとともに施設間の交流を深めている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居者様の生活状況を把握し、入居者様の訴えを可能な限り傾聴し、ご本人様が求めている事や不安を理解しようと職員全体に周知できるように連絡ノートや情報共有に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面談、契約時にご家族様に入居者様の生活状況やご家族様の悩み、不安などを傾聴し日常生活を安心して過ごしていただけるようにご説明し納得して頂けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居者様、ご家族様の希望されている事を知る為にもこまめな連絡、報告を行い、お考えや思いを理解して可能な限り対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	個人の尊厳を尊重し信頼関係を深めている。生活上のお手伝いを行うだけでなく料理など教わる部分も多く共に支え合う関係を意識している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居者様の近況やホーム内での行事など毎月のお手紙にて報告している。面会も事務所前にてお話をされご要望なども伺いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様と季節ごとの手紙や写真のやり取りを行ったり、電話などでお話しができるようにご連絡している。馴染みの方がご面会に来られるようにご家族様からお話しを伺い連絡を取っている。	利用者個々のアルバムを作成し、家族面会時には写真を通じてホームでの生活状況や、近況報告をしている。電話の取り次ぎ、季節毎の年賀状や暑中見舞いなど送っている。県外にいる知人とは、手紙やイラストなどでやり取りを行い、定期的な関りの継続が出来た例もある。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う入居者様と一緒に過ごして頂けるように配慮している。グループレクリエーション(トランプなど) 集団レクリエーション(歌、風船バレーなど)を一人ひとりに合わせ関りを支援している。		7
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後についても入居者様、ご家族様の意向を確認しながら相談の上、同法人全体でバックアップしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりに寄り添いながらコミュニケーションを図っている。ご本人様の意向をしっかりと受け止め、意思疎通が困難な方にはご家族様も含めた意向の把握に努め情報収集を行っている。	家族との関係性が大事だと考え、担当職員を中心に家族とやり取りをしている。深く関りをもつことで想いを受け止め、記録で共有している。意思表示が難しい方には、家族情報を考慮して、本人の日頃の状況から受け止め、何事も本人主体で物事を考えている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居者様、ご家族様、ケアマネジャーなど、ご本人様をよく知る方からの情報をもらいグループホームでの生活に繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの過ごし方は行動、言動、体調管理の記録を細目に行い職員間で把握している。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	1ヶ月～3ヶ月毎に見直しを行っている。カンファレンスを実施し、入居者様のニーズにマッチした計画を立てている。また、ご家族様のご意見ご要望を反映させるように努めている。	担当職員が利用者と日頃関わる中で知り得た情報により、アセスメントを作成している。本人と家族の意向を聴きプランを作成し、医療機関や計画作成者と意見や協議を行い、ニーズに沿った介護プランを作成している。1～3ヶ月ごとに見直しをし、本人と家族の意向を聴きながら本人主体の計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入居者様個人のファイルがあり、ご本人の発言や行動記録、ケアプランに沿ってケアの実践、その日の職員間での気づきを記録、報告しカンファレンスに活用し介護計画（ケアプラン）に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	入居者様の状態やご家族様の意向に配慮しながら臨機応変に対応している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	運営促進会議に地域包括センターの職員の方や町内会長の方に情報提供して頂き協力関係を築いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	1週間～1ヶ月に1回定期検診を行っている。主治医には経過を報告し、必要に応じてご家族様にも付き添いをお願いしている。	定期受診や24時間連絡体制を整えており、利用者全員の主治医が事業所の協力医である。他の専門医の受診などは家族の協力のもと支援を行っている。必要に応じて母体病院のリハビリ職員からのアドバイスを受ける体制を整えている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から介護職員と訪問看護師の関係を密にしている。個別のファイルを作成し、情報を共有している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院によるダメージを極力防ぐため、入居者様への支援方法に関する情報を医療機関に提供している。また、ご家族様にも回復状況などの情報交換しながら退院支援に繋げている。退院前のカンファレンスなどにも参加し退院後のスムーズな支援ができるように努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居者様、ご家族様のご意向を踏まえ、主治医、看護職、訪問看護師との連携をとり対応できるケアについて説明を行っている。	看取りの経験もあり、重度化した場合『看取りに関する指針』に準じて、その都度、医師、訪問看護、家族と話し合いを行い方針を決めている。マニュアルも整備し、本人の状態変化に応じて話し合いを重ねて支援に取り組んでいる。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応について初期対応や応急手当の勉強会を行い対応に備えている。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアルを作成し、夜間想定、日勤想定をした職員、入居者様の訓練を毎月行っている。また、地震災害、大雨による洪水を想定し垂直避難訓練を実施している。	マニュアルの作成や法人での応援体制を整備している。夜間想定、日中想定と毎月訓練をしている。ハザードマップ上、水害が想定される地域のため、1階から2階へと垂直避難の訓練をしている。水、食料など備蓄に関しては、2階に3日分準備している。	



自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご本人様の気持ちを大切に考え、さりげない声掛けでのケアを心掛けたり、できかぎり分かりやすい言葉や選択肢を用いて自己決定しやすい言葉かけをするように努めている。	『気持ちのいい接遇を取り組みます』の目標、職員全員で考えた5つの項目を掲げ、毎日の唱和や年2回の個人面談で達成度を確認している。法人全体でEラーニングを含めた動画研修など職員を育てる取り組みをしている。人生の先輩、目上の方に対する丁寧な言葉掛けに日々努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	細かな事でも複数の選択肢を提案して入居者様が自己決定できる場面を作るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様の体調やお気持ちを尊重しそれに合わせ対応を心掛けている。散歩やドライブなど個別に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	自己決定が難しい入居者様には職員と一緒に考えてご本人様の気持ちに沿った支援を心掛けている。訪問美容で希望に添ったカットや毛染めをしてもらうように努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や片付けを職員と一緒にしている。何が食べたいのか、お好きな食べ物は何かなどの入居者様の意向を聞きながら食事のメニューを考えるように努めている。	利用者の嗜好を取り入れた3食手作りの食事を提供している。畑で収穫した野菜が食卓に上がることもある。誕生日にはリクエストを聞き手作りケーキ、メニューに反映している。利用者が以前、お店をしていた職歴からホットプレートを使用して焼きそばを作ったことがある。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>1日を通して手作りによるバランスの良い食事を提供し、記録する事で職員間で把握している。また、一人ひとりに合わせた食事形態、アレルギーに対応した食事を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを行っている。ご自分では介助にて実践している。また、必要に応じて歯科往診や1ヶ月に1回の歯科衛生士の訪問を依頼して指導を頂きながら適切なケアをしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄リズムを行動や仕草で確認し、食前食後以外にも様子観察、見守りをしてなるべく自立した排泄をして頂けるように支援している。</p>	<p>自立支援の考えから、ポータブルトイレを使用せず、トイレでの排泄支援をしている。日中、夜間共に紙おむつに頼らないように個々の状況に応じて布パンツや紙おむつの選定をしている。利用者個々の行動パターンを把握しながら定期的な声掛け、トイレ誘導を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日の排便の確認を行っている。便秘気味の方には食事や水分に注意し体操など取り入れている。水分摂取量の少ない方には、好きな飲み物やスポーツ飲料のゼリーを作り提供している。また、毎日のラジオ体操や入居者様一人ひとりに応じたリハビリのプランがあり運動も行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日勤帯ではあるが、入居者様のタイミングで入浴して頂くようにしている。冬季は特に脱衣所の温度管理に注意している。入居者様の既往歴などを考慮し入浴時間を調整している。</p>	<p>基本週2～3回であるが、本人の身体状況によっては、希望があれば毎日の入浴も可能である。利用者の体調や入浴習慣に合わせて時間など午前又は午後と柔軟に対応している。脱衣所は、オイルヒーターや扇風機など使用し、温度管理に気を付けている。希望があれば同性介助をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	リビングにソファ等置き休息できるようにしている。テラスやベランダでも気持ちよく過ごせるように椅子やテーブルを配置している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員全員が把握できるように表を作成している。日付、名前を2重、3重に確認して服用して頂き変更があれば、その都度更新している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの楽しみな事をお聞きし、好きな事をして頂いている。役割についても分担して無理なくして頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者様のご要望で近隣お散歩やドライブなど行っている。ドライブでは馴染みの合ある場所などに出掛けている。ご家族のご協力で以前お住まいになっていた家に行くことを支援している。	小学校の登下校時にテラスで声を掛け、挨拶をして通学の見守りをしている。気候が良ければ、近隣の散歩やテラスでティータイムを楽しんでいる。外出日を設け、『お花見、紅葉狩り、ドライブ、買い物』などに出掛けている。法人系列のギャラリーに利用者が作った作品展示を見に行くこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居者様、ご家族様の希望があれば財布を預かり金庫で保管している。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人の希望があれば電話ができるようにしている。ご家族様、ご友人からの電話も積極的に受けている。季節ごとには年賀状や暑中見舞いなど送っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングや居室等に許可を頂き日々の様子や誕生日の写真や習字等を展示し居心地の良い空間作りに努めている。	温度管理や職員と利用者が一緒に行う掃除により清潔が保たれている。リビングの窓も大きく、リビングから直接出入りできるウッドデッキがある。利用者同士の会話が弾むように椅子やソファを設置している。リビングのかたわらに畳スペースがあり、お茶会を行うこともある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビング前にソファを置いたり、テラスやベランダにもテーブル、椅子を置き談話スペースを設けている。事務所前にも椅子を置いて職員とも談話しやすい環境を作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にはご家族様にはタンス、椅子、テレビや写真など使い慣れた物を持参して頂くようお願いしている。	利用開始前の情報を得て、利用時に本人と家族と相談し、家具やベッドの位置など居室レイアウトを工夫している。使い慣れた品物、馴染みの物、家族写真など持参している。好きな俳優のポスターを掲示したり、安心して過ごせるように本人と家族と相談し工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご入居様が自らで分かりやすいようにトイレの場所に札を付けている。		

V アウトカム項目( 1階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎年、職員にアンケートをお願いし法人の理念以外にもグループホームでのケア目標を作成して毎朝、朝礼時に唱和をしている。また、理念自体の重要性について1人1人に指導している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	小学校の登下校時にテラスでの声掛け、挨拶を行ったり散歩中の住民の方に声を掛けてお話しされたりする。散歩コースの公園にはたくさんの子供達に会い日常生活を感じられる。公園の清掃も行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	観音地域包括センターが主催する「観音認知症応援団」に毎月参加している。年2回講師を招いて講演会を開催し地域住民の方に認知症の方との関わり方について理解して頂く。また、グループホームについても理解して頂き認知症の相談窓口としての役割を果たす。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度開催しご家族様、入居様、町内会長、地域包括の方、近隣の施設の方とリモートにて情報共有し、意見を頂いている。行事などの報告も同時に行っている。6月に直接参加の運営推進会議を行った。質問やご意見などにお答えしてサービスの向上を図る。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	広島市の主催する研修にできる限り参加し、地域支えあい課の担当者様と連携しながら情報交換を行っている。運営推進会議の報告も行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	関連法人グループにて年2回の身体拘束に関する研修を行っている。また、グループホーム内でも年2回勉強会を行い職員の意識の向上に努めている。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	関連法人グループにて年2回の虐待に関する研修を行っている。職員の入居者様への言動の変化にも注意し、目上の方の尊敬の念を意識する為、朝礼時にも唱和している。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	関連法人内の勉強会、グループホームでの勉強会に参加し権利擁護に関する内容を学び意識している。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	管理者、法人在宅事業部マネージャーを交えて説明を行っている。細かい部分についても事前に説明し有無の確認をしている。リスクマネジメント、苦情、要望については対応方法を文章で説明し同意を得ている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	施設入り口に意見箱を設置している。メールのやり取りも行っておりご家族様のご意見を伝えやすくしている。また面会も再開しており、面会に来られたご家族様へ声掛けを行い話しやすい雰囲気を作り、要望があれば書類にし、全体カンファレンスやサービス向上委員会にて話し合い、原因究明、再発防止に努めている。		



自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回必ず全体カンファレンスを行っている。欠席者については事前に書類参加にて意見を出してもらっている。カンファレンスの内容については迅速に書類にて回覧している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回人事考課を実施している。前年度の反省を基に個人目標について面接を行っている。職員の抱えている問題を把握し対応している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設外の研修に参加するように職員へ促し、参加した場合は報告書にて他の職員にフィードバックしている。また、職員研修用にe-ラーニングにて全員が視聴している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	観音地域包括センター主催の認知症カフェ「観音認知症応援団」に参加し近隣の事業所と知識を深めるとともに施設間の交流を深めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居者様の生活状況を把握し、入居者様の訴えを可能な限り傾聴し、ご本人様が求めている事や不安を理解しようと職員全体に周知できるように連絡ノートや情報共有に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面談、契約時にご家族様に入居者様の生活状況やご家族様の悩み、不安などを傾聴し日常生活を安心して過ごしていただけるようにご説明し納得して頂けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居者様、ご家族様の希望されている事を知る為にもこまめな連絡、報告を行い、お考えや思いを理解して可能な限り対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	個人の尊厳を尊重し信頼関係を深めている。生活上のお手伝いを行うだけでなく料理など教わる部分も多く共に支え合う関係を意識している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居者様の近況やホーム内での行事など毎月のお手紙にて報告している。面会も事務所前にてお話をされご要望なども伺いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様と季節ごとの手紙や写真のやり取りを行ったり、電話などでお話しができるようにご連絡している。馴染みの方がご面会に来られるようにご家族様からお話しを伺い連絡を取っている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う入居者様と一緒に過ごして頂けるように配慮している。グループレクリエーション(トランプなど) 集団レクリエーション(歌、風船バレーなど)を1人1人に合わせ関りを支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後についても入居者様、ご家族様の意向を確認しながら相談の上、同法人全体でバックアップしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お一人お一人に寄り添いながらコミュニケーションを図っている。ご本人様の意向をしっかりと受け止め、意思疎通が困難な方にはご家族様も含めた意向の把握に努め情報収集を行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居者様、ご家族様、ケアマネージャーなど、ご本人様をよく知る方からの情報をもらいグループホームでの生活に繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	おひとりお一人の過ごし方は行動、言動、体調管理の記録を細目に行い職員間で把握している。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b>  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	1ヶ月～3ヶ月毎に見直しを行っている。カンファレンスを実施し、入居者様のニーズにマッチした計画を立てている。また、ご家族様のご意見ご要望を反映させるように努めている。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b>  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入居者様個人のファイルがあり、ご本人の発言や行動記録、ケアプランに沿ってケアの実践、その日の職員間での気づきを記録、報告しカンファレンスに活用し介護計画（ケアプラン）に活かしている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b>  本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	入居者様の状態やご家族様の意向に配慮しながら臨機応変に対応している。		
29		<b>○地域資源との協働</b>  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	運営促進会議に地域包括センターの職員の方や町内会長の方に情報提供して頂き協力関係を築いている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b>  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	1週間～1ヶ月に1回定期検診を行っている。主治医には経過を報告し、必要に応じてご家族様にも付き添いをお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から介護職員と訪問看護師の関係を密にしている。個別のファイルを作成し、情報を共有している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院によるダメージを極力防ぐため、入居者様への支援方法に関する情報を医療機関に提供している。また、ご家族様にも回復状況などの情報交換しながら退院支援に繋げている。退院前のカンファレンスなどにも参加し退院後のスムーズな支援ができるように努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居者様、ご家族様のご意向を踏まえ、主治医、看護職、訪問看護師との連携をとり対応できるケアについて説明を行っている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応について初期対応や応急手当の勉強会を行い対応に備えている。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアルを作成し、夜間想定、日勤想定をした職員、入居者様の訓練を毎月行っている。また、地震災害、大雨による洪水を想定し垂直避難訓練を実施している。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご本人様の気持ちを大切に考え、さりげない声掛けでのケアを心掛けたり、できるかぎり分かりやすい言葉や選択肢を用いて自己決定しやすい言葉かけをするように努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	細かな事でも複数の選択肢を提案して入居者様が自己決定できる場面を作るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様の体調やお気持ちを尊重しそれに合わせ対応を心掛けている。散歩やドライブなど個別に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	自己決定がしにくい入居者様には職員と一緒に考えてご本人様の気持ちに沿った支援を心掛けている。訪問美容で希望に添ったカットや毛染めをしてもらうように努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や片付けを職員と一緒にしている。何が食べたいのか、好きな食べ物は何かなどの入居者様の意向を聞きながら食事のメニューを考えるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	1日を通して手作りによるバランスの良 い食事を提供し、記録する事で職員間で 把握している。また、お一人お一人に合 わせた食事形態、アレルギーに対応した 食事を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを行っている。ご自分 でできる方には声掛けを行い、難しい方 には介助にて実践している。また、必要 に応じて歯科往診や1ヶ月に1回の歯科衛 生士の訪問を依頼して指導を頂きながら 適切なケアをしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	お一人お一人の排泄リズムを行動や仕草 で確認し、食前食後以外にも様子観察、 見守りをしてなるべく自立した排泄をし て頂けるように支援している。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日の排便の確認を行っている。便秘気 味の方には食事や水分に注意し体操など 取り入れている。水分摂取量の少ない方 には、お好きな飲み物やスポーツ飲料の ゼリーを作り提供している。また、毎日 のラジオ体操や入居者様おひとりお一人 に応じたリハビリのプランがあり運動も 行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	日勤帯ではあるが、入居者様のタイミン グで入浴して頂くようにしている。冬季 は特に脱衣所の温度管理に注意してい る。入居者様の既往歴などを考慮し入浴 時間を調整している。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	リビングにソファ等置き休息できるようにしている。テラスやベランダでも気持ちよく過ごせるように椅子やテーブルを配置している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員全員が把握できるように表を作成している。日付、名前を2重、3重に確認して服用して頂き変更があれば、その都度更新している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お一人お一人の楽しみな事をお聞きし、好きな事をして頂いている。役割についても分担して無理なくして頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者様のご要望で近隣お散歩やドライブなど行っている。ドライブでは馴染みの合ある場所などに出掛けている。ご家族のご協力で以前お住まいになっていた家に行くことを支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居者様、ご家族様の希望があれば財布を預かり金庫で保管している。		



自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人の希望があれば電話ができるようにしている。ご家族様、ご友人からの電話も積極的に受けている。季節ごとには年賀状や暑中見舞いなど送っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングや居室等に許可を頂き日々の様子や誕生日の写真や習字等を展示し居心地の良い空間作りに努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビング前にソファを置いたり、テラスやベランダにもテーブル、椅子を置き談話スペースを設けている。事務所前にも椅子を置いて職員とも談話しやすい環境を作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にはご家族様にはタンス、椅子、テレビや写真など使い慣れた物を持参して頂くようお願いしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご入居様が自らで分かりやすいようにトイレの場所に札を付けている。		

V アウトカム項目( 2階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム南観音ひまわり

作成日 2023年10月10日 (火)

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議についてご家族様の出席人数が少ない為、意見交換ができていない。	多くのご家族様の意見が反映され情報交換ができる。	多くのご家族様が運営推進会議に出席することができる。または、事前に要望・意見などをお聞きし運営推進会議の中で情報交換を行っていく。	2ヶ月
2	35	災害対策について地域との連携、情報交換ができていない。	災害（火災・洪水浸水）時の避難訓練に地域の方が参加できる。	地域の方への参加の声掛けや情報提供を行う。	3か月
3	2	地域とのつきあいについて入居者様の役割ができていない。	地域の方とグループホームの入居者様に関りが持てる。	小学校の登下校に声掛け（挨拶など）を行い見守り隊としての役割が持てる。	6か月
4	13	職員の育成。	職員一人ひとりの研修の機会を確保しながらチームとしてしっかりとコミュニケーションがとれる。	毎月のスタッフ会議にて研修を行いスタッフ同士での話し合いの場を設ける。法人内のDVD視聴研修も毎月行っていく。	1ヶ月
5	20	馴染みの人や場との関係継続の支援。	季節ごとの挨拶状や近況など手紙のやり取りができる。	季節ごとの手紙のやり取りや遠方の方などはリモート面会などを活用して継続した支援を行っていく。	3ヶ月
6	29	地域資源との協働。	町内会での行事や祭りに参加できる。	町内会と運営推進会議を通じて情報交換を行い入居者様が参加できるように配慮する。	1ヶ月
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。